2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	英会話		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	バイオサイエンス専攻　1年		学期及び曜時限	前期	教室名	401教室
担 当 教 員	ILC講師/矢野　昌人	実務経験とその関連資格	(矢野)工学博士(生命工学)の学位を取得。産学官連携プロジェクトに研究員として参加し、分子生物学的手法をもちいて研究に従事(2年半)。大学の助教として、分子生物学的手法、細胞培養、動物実験をもちいて研究に従事(4年)。			

《授業科目における学習内容》

主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:70%
2. 出席評価:20%
3. 平常評価:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「Speak Now 1」Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

《授業外における学習方法》

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。
オンラインでの学習(リスニング、文法など)が可能です。

《履修に当たっての留意点》

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初対面の相手に対し、適切な挨拶ができるようになる	Speak Now	中学・高校までの英語の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	イントロダクション、プレテスト、 初対面の挨拶～お別れまでの会話		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分のこと、相手のことを英語で述べられるようになる	Speak Now	教科書 L.2&3 を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.2&3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答え		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	興味のあること・ないことについて述べられるようになる	Speak Now	教科書 L.5&6 を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.5&6 好き・嫌い等の好みについての会話		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分の意思を相手に伝えられるようになる	Speak Now	教科書L.8を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.8 意見を尋ねる、意見を述べる。お誘いを受けた際の返答の仕方を学ぶ		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	周りの人間、自分の性格を伝えられるようになる	Speak Now	教科書L.9&10を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.9&10 家族や性格についての会話		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ファッションについて話し、相手のファッションについて褒めることができるようになる。	Speak Now	教科書L.11&12を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.11＆12 人を褒める＆褒められた際の会話表現を学ぶ。(衣服など)着ているものに関して述べる		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を用いて、時間について説明できるようになる	Speak Now	教科書L.7,13,14を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.7,13&14 時間についての表現方法を学ぶ。日々の習慣について話す＆質問する		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	道案内ができるようになる	Speak Now	教科書L.19&20を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.19&20 道案内をする、場所を尋ねる		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	買い物時の受け答えができるようになる。価格交渉ができるようになる。	Speak Now	教科書L.21&23を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.21&23 数やお金の数え方、価格や頻度についての質問や受け答えを学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食習慣、健康な食事について話せるようになる	Speak Now	教科書L.27を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.27 食習慣、健康な食事についての表現方法を学ぶ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	レストランで料理を注文できるようになる	Speak Now	教科書L.28を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.28 料理の味や材料について＆レストランでのオーダー方法を学ぶ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	旅行などの経験について話すことができるようになる	Speak Now	教科書L.29&30を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.29&30 過去の出来事について話す＆質問する		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リアクションを取りながら会話できるようになる	Speak Now	教科書L.31を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.31 自分の体験について話す＆それに対するリアクションや返答方法を学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	旅行の予定や将来のことについて述べられるようになる	Speak Now	教科書L.32を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.32 週末や未来の予定について話す		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	学期末試験の復習が自宅でもできるようになる	Speak Now	教科書(学んだ範囲)の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	学期末・総復習を行う。		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	英会話		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	バイオサイエンス専攻　1年		学期及び曜時限	前期	教室名	401教室
担 当 教 員	ILC講師/矢野　昌人	実務経験とその関連資格	(矢野)工学博士(生命工学)の学位を取得。産学官連携プロジェクトに研究員として参加し、分子生物学的手法をもちいて研究に従事(2年半)。大学の助教として、分子生物学的手法、細胞培養、動物実験をもちいて研究に従事(4年)。			

《授業科目における学習内容》

海外のバイオテクノロジーを体感することで、知識・技術や世界の動向について学び、専門性を高めることを目的とする。
また、海外の文化に触れることで視野を広げ、国際人としての心構えを育むことを期待する。

《成績評価の方法と基準》

1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70%　　2. 研修態度:10%　　3. 出席状況:20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・研修日誌
・研修事前授業で使用した資料
・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意)

《授業外における学習方法》

・研修前は、これまで学んだ専門分野(特に分子生物学・遺伝子工学・細胞工学)について復習しておくこと
・研修後は、新しく学んだ内容について理解できるように復習すること
・研修先(国・地域・大学・公的機関・企業など)について自主的に学ぶこと

《履修に当たっての留意点》

海外研修は、海外のバイオテクノロジーの先端技術や動向を知り、専門性を高める貴重な機会となる。その為、事前の準備と事後の復習を必ず行い、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ内容について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 開始式、学長挨拶、研修スケジュール確認など		
第17回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 組織学実習		
第17回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 組織学実習		
第19回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ ・キャンパス・ツアー ・英会話のレッスン		
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ ・キャンパス・ツアー ・英会話のレッスン		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 特別講義「神経退行性疾病における幹細胞」		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 特別講義 細胞診についての講義		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 日米学生プレゼンテーション・ディスカッション① 「コンパニオン診断の日本の現状と展望」		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 日米学生プレゼンテーション・ディスカッション② 「日本とアメリカの比較と再生医療の問題点について」		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる。 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ 日米学生プレゼンテーション・ディスカッション③ 「アウトドアで感染しやすい病気(予定)」		
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	英会話に挑戦し、コミュニケーション能力を向上させることができる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	＜研修先:クローバーパーク テクニカルカレッジ＞ ・文化交流 ・修了証書の授与		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	ブラッドワークス・ノースウェスト セントラルシアトル献血センター見学(予定)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ知識について理解し説明できる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	ワシントンン州大学　幹細胞・再生医学研究所(UW ISCRM) 見学		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカでのサービスマインドに触れ、その良さを説明することができる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	ディズニーランド、カリフォルニアアドベンチャー観光		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	米国のバイオテクノロジーの先端技術や動向について学びまとめることができる。	・研修日誌 ・研修事前授業で使用した資料 ・参考となる資料(任意)	・研修内容を復習すること ・新しく学んだ内容について調べ知識を深めること ・研修先について自主的に学ぶこと
		各コマにおける授業予定	研修の振り返り		